

いとしま

12-1
2011 DEC.
No. 46

いとしま
No. 46



特集 いとしま共創プラン

深江の浜と松原を守る!

深江校区まちづくり事業の活動

- 糸島市からのお知らせ P8~
- 講座&イベント案内 P16~
- 博物館だより・美術館だより P19
- くらしの情報 P20~
- こころコラム・復興支援報告 P23
- いとしまの出来事 P24~
- 市民のページ P26~

お茶の作法を学ぶ子どもたち

11月11日、一貴山小学校6年生の子どもたちがボランティアの先生の指導のもと、お茶の作法を学びました。

お茶はきれいに飲み干す、最後は「ズッ」と音を立てて飲むなど、初めての茶道に四苦八苦しながらも懸命に習得していました。

■平成23年12月1日 福岡県糸島市発行 ☎092(323)1111
糸島市公式ホームページアドレス <http://www.city.ioshima.lg.jp>

■広報「いとしま」メールマガジン配信中
防災行政無線電話番号 ☎0120(315)470



QRコード



携帯向けQRコード

あなたの健康のホームドクター
保険クリニック
hoken clinic

生命保険の「相談・見直し」

「保険料を払いすぎているんじゃないか?」「見直し」はしたいけど、難しくてよくわからない」という方におすすめなのが「保険クリニック」です。
特定の保険会社に偏らない中立的な立場からのアドバイスが好評です。

まず電話で **保険クリニック 福岡西店** にご予約を ☎0120-606-929
<http://www.accel-hoken.com>

先着20名様 相談料無料(通常3,150円)受付9:00~17:00
株式会社アクセル 糸島市権原西二丁目5-5

階段を **とんとん** と、のぼりたい!!

びびる痛み・腰の痛みなどを相談ください
糸島薬局 ☎092-322-2241
糸島市前原中央2丁目3-33 前原バス停前(国道202号沿い)

小型船舶免許 更新 失効 講習

日時 12月18日(日)9:30~ 会場 伊都文化会館
更新¥9,000 失効¥15,000

◎操縦免許証 △認め印
△変更ある場合は住民票(写真は当日撮影します)

入枝海事事務所 ☎(099)281-7753

日本のお墓は高すぎる…!

そんな不満を **グリーンパーク福岡西墓苑**が解決します!

顧客満足度 **100%達成**
(弊社アンケート調査)

■広告有効期限/平成24年3月末

無駄ゼロ価格でも、充実のセット内容! 立派な家族墓なのに、価格は納骨堂並!

無駄ゼロ価格とは	1.徹底したコストコントロールで原石相場の急騰を墓価に転嫁しない	3.過度な設備投資はしない
	2.無駄な人件費・広告宣伝は墓価に転嫁される	4.華やかな素材は墓価に転嫁される

1 永代管理型企画墓

フルセット価格 **1.0m² 12墓限定**

70万円 [税込]

永代管理費
永代使用料
刻字料
墓石
工事費

※永代管理費・永代使用料の期間は、ご建立お引渡し後50年間
※期間満了後は、合祀墓(墓誌附設中)にて、永代にわたり大切にお守りいたします。
※ご建立場所は指定区域に限ります。
※永代供養墓も受け付けております。
※写真の仕様は一部変更されることがあります。

2 墓域限定型企画墓.A

セット価格 **1.5m² 12墓限定**

80万円 [税込]

永代使用料 管理費10年分 ※ご建立場所は指定区域に限ります。
刻字料 墓石 工事費 ※写真の仕様は一部変更されることがあります。

3 墓域限定型企画墓.B

セット価格 **1.8m² 12墓限定**

95万円 [税込]

永代使用料 管理費10年分 ※ご建立場所は指定区域に限ります。
刻字料 墓石 工事費 ※写真の仕様は一部変更されることがあります。

グリーンパーク 福岡西墓苑

☎0120-44-6005
〒819-1831 福岡県糸島市一貴山3565-5
TEL:092-326-8006 FAX:092-326-6044
URL <http://www.gpf-nishiboen.jp>

その他の区画面積もご用意しております。詳しくは、資料請求を!! **グリーンパーク福岡西墓苑** 検査、
■管理・販売代理/(株)上関企画 ■造成/(株)期谷組 ■納骨/く西武グループ 西武造園(株) ■埋葬許可番号/20二第50号

糸島市の木・花・キャラクター・シンボルカラー

市の木 カエデ

市の花 ハマボウ

市のキャラクター (愛称募集中!)

市のシンボルカラー 黄色



ともに、 共創する。

糸島市が誕生して1年11か月が経った今、市内15校区ではさまざまな取り組みが行われている。「子どもが安心して通学できるように防犯パトロール」

「世代を超えた交流事業」「伝統行事の継続」……そのどれもがたいせつなまちづくり。

今回は、そんなまちづくり事業の中の一つ、

深江校区の清掃活動を密着取材した。

この活動から見えてくる

「いとしま共創プラン」の意味とは一体何なのか、

まちづくりをおして、

どんなことが見えてくるのだろうか。



深江校区まちづくり事業

二丈深江の浜で 300人が清掃活動

10 月23日、二丈深江の浜に約300人が集結し、清掃活動が行われた。前日の大雨などの影響で浜にはたくさんさんの漂着物が散乱。当日も天候がすぐれず、時折強い雨が降る中での清掃作業となったが、参加者たちは、雨風に負けることなく、一つひとつ丁寧にゴミを拾い集めた。清掃活動後は、地引き網漁が行われ、子どもから大人までこのイベントを楽しんだ。



地引き網漁では予想以上の大漁に漁師もびっけり



真剣に考えた標語が選ばれ、思わず笑みがこぼれる

「はまべには、ゴミをすてない
おやくそく」

深 江の自然と環境を守る会の自然と環境を守る会の浜の清掃活動の実施に当たり、地域のみなさんから「標語」を募集したところ、総数284点もの応募が寄せられた。

厳正な選考の結果、4点の入選作品が決定し、23日、清掃活動開会式の会場となった深江の浜で、表彰式が行われた。

見出しの標語は、最年少で入選した山崎玲奈さん（深江小3年生）の作品。

浜の清掃活動はあくまでスタート

あのころの「深江の浜」を取り戻したい

昔の美しい深江の浜をよみがえらせるために

この「深江の自然と環境を守る会」が発足したのは、今年の4月で、第1回目の会議から委員のみなさんと数々の議論を繰り広げしてきました。この地域でまずやるべき事業は何か、そして自分たちボランティアの力でできることは何か、山のような意見をまとめるだけでも一苦勞でした。

そのような意見の中から、みんなが共通して抱いていた「昔の深江の浜を取り戻したい。まずはやれることからやろう」という思いを一つにし、最初の第一歩として「深江の浜の清掃活動」計画が進み始めました。

テーマも決まり、すぐに事が進んでいくかと思いましたが、そう簡単な道ではありませんでした。マニュアルなどあるはずもなく、過去の実績もない。そんな中で、ただこの活動をおして校区民の世代間交流を図りながら美しい海、浜、松林を守り育てたい。それが今後の地域の行事で生きてくるはず。その思いだけが今でも原動力になっています。

もちろん今回の活動で終わりではありません。今後も2か月に1回の清掃活動を続けながら、いずれは松原の整備を自分たちでやっていくという夢を実現するために、真つ向から取り組んでいきます。



深江の自然と環境を守る会
委員長
椎葉 英實さん

「深江の自然と環境を守る会」
発足からの流れ

4月 (1回目の会議)
委員長などの役員を決める
取り組み内容を話し合う

5月 (2回目の会議)
計画の参考にするため、
姉子の浜、深江の浜を視察

6月 (3-4回目の会議)
・姉子の浜での取り組み内容を
詳しく知るために公民館で勉強会
・防風林の現況や
松枯れについて勉強会

7月 (5回目の会議)
これまで勉強してきたことを
整理し、計画の青写真を作成

8月 (6回目の会議)
・計画の実行に向けて
具体的な役割分担などを決定
・ボランティアの募集を開始

9月 (7回目の会議)
・計画もよいよ大詰め。
内容を詰めるための話し合い
・小中学校へ標語の募集

10月 (8回目の会議)
計画の最終確認を行う

笑顔の絶えない話し合い
会議は3時間を超えることも...



会 議といえば、みなさん
は堅いイメージを思い
浮かべるかもしれない。しか
し、実際に参加してみると、
みんなの笑い声が飛び交う
明るく楽しい会議だった。
イベント参加者は、目につ
きやすいので、受付け時のシ
ミュレーションや飲み物の
受け渡し方法など、細部にわ
たり熱い意見交換が行われ
ていた。



参考資料:上の「読者文庫」によれば昔は松原が広がっていたことがわかる。右は現在の松原の様子。草木が生い茂り、足を踏み入れることもできない



現 在の深江の浜と松原は
荒れ果てて目も当てら
れない。同会に所属するメン
バーは、みな口を揃えて言う。
かつて深江の浜には、たく
さんの魚介類が獲んでおり、
多くの海水浴客でにぎわっ
ていたそうだが、今では外国
からの漂着物や犬のフンな
どで昔の面影はない。
松林に足を踏み入れると
雑草が生い茂り、ごみも散乱。
昔はよく採れていたという
松露(食用のキノコ)は見当
たらなし。
委員長の椎葉さんの記憶
によれば、子どものころは松

一人ひとりの考えは違う。予想図も違う。それでも... 「深江の浜と松原を守る！」
— 深江校区まちづくり事業の活動 —
めざすところは、一緒だった。



「深江の自然と環境を守る会」の会議の様子



が小さく、砂丘地だったとい
う。そのため、近くの民家や
中学校には砂が吹き込み、廊
下に砂が積もっていたそうだ。
松が大きくなくなってからは、砂

嵐がうそのようになくなり、
近隣住民は本当に救われた。
当時の人たちはみな、その時
のありがたみが胸に焼き付
いているという。

深江の自然と環境を守る会
実行委員
看板制作担当
古川 廣和さん



で描いたスケッチは500枚を超える。
まず鉛筆で下絵を描き、水彩絵の具で薄く色を塗り
広げる。紙の白地を残しながら色を付けるのがポイント
で、どこまで色を付けるかの攻め際が難しさでもあ
り、楽しさでもあるそうだ。
地元で生まれ育った古川さんは深江の自然が大好
きで、この深江の浜と松原を次世代へとつないでいく
ためにも絵を描いて看板にしたそうだ。



深江の浜の近くにあ
る農業体験交流広場
に行くとき大きな看板が
立っており、深江の浜
から西を望んだ絶景が
描かれている。
これらを描いたのは、
自己流で20年近く絵を
描き続けているメンバ
ーの古川さん。糸島を
中心にいろいろな場所

20年以上描きつづけた絵を
まちづくりに生かせることは、
大きな喜びです。

現役だったころ
は産業機械の設計
を担当していたと
いう中川さん。
CADという設
計専用のコンピュ
ータやコピー機が
並んでいる部屋で
描き上げられたイ
ベント会場の地図
は、意外にも手描
きだった。
寸分の狂いも許
されない設計の世
界で生きてきた中
川さんが手描きにした理由が2つ。目印になる
ポイントだけを地図に落とし込むことができること。
そして歪みのある線から温かみを感じることができ
ることだという。



手描きの地図だから
温かみを感じられ、
やさしく伝わると思う。

中川さんが
制作した
手描きのマップ



深江の自然と環境を守る会
実行委員
イベント部長
中川 慶典さん



顔を合わせることで、
積極的に地域行事に参加し、
地域の人たちと

そのためには、
信頼関係を築いていく
助け合う「結」の精神。
お互いに支え合い、

「結」の精神を忘れないで

大切なのは、
まちづくりを行う上で



糸島市行政区長会
副会長
森園 忠之さん

つくっていくという意味で
間違いないのですが、範囲
があまりにも広いんです。
伝統行事を何世代にもわ
たつて続けていくこと、清掃
活動を行うこと、祭りや地域
行事を行うこと、行事の後の
打ち上げなど、そのすべてが

あ れは昭和55年8月30日。
その当時、私は地元・
二丈浜窪の消防団の班長を
務めていました。
降りやまない大雨に危機
感を覚えながら見回りをし
ていると、突如轟音とともに
土石流が発生したのです。幸
い民家は下敷きにはなりま
せんでしたが、生活道路が土
砂で埋まり往生しました。

地 域の行事は、地域の人
々のチャンスです。行事を成
功させることよりも、その過
程で人と人とが顔を合わせ
て仲良くなることに意味が
あるんです。仲良くなり、結
束が強くなれば、そのことが
必ず災害時に生きてきます。

い としま共創プランこと
いう言葉だけを聞くと、
ほとんどの人が難しく考え
てしまうのではないでしょ
うか。私も最初にこの言葉を
聞いた時は、正直「何のこと
やろうか」と思いました。地
域のみんなで一緒にまちを

まちづくりに関係しています。
つまり、この共創プランの
一番の目的は活動を行う上
で重要となる地域の「結」、今
の言葉に置き換えるならば絆
をつくることだと私は考え
ています。

日ごろから地域の人たち
がつながり、意思の疎通がで
きていた証拠だと思います。
家の人もサラリーマンも仕
事を休んで駆け付け、スコッ
プでの手作業でしたが、阿吽
の呼吸で、トラック10数台分
の土砂をわずか3日で除去
しました。

行事に参加して
顔を合わせることで重要

いとしま共創プランについての問い合わせ 糸島市地域振興課 ☎(332)2062



深江校区在住
OZ サッカークラブ代表
古家 さん(右)
瀬川 さん(左)

地 元深江で子どもたち
にサッカーを教えて
います。今日はクラブの子
どもたちを連れてこの清掃
活動に参加しました。
僕たちは、地元で生まれ
育ったので深江の自然が本
当に大好きです。この素晴
しい自然を守っていくため
にも、継続して活動するこ
とが必要だと思います。そ
して、このことを子ども
たちにも伝えていかなけれ
ばなりません。これからも
クラブの子どもたちを引
き連れて、清掃活動を始
めとする地域の行事に積
極的に参加していきます。

九 州・糸島の自然に引
かれ、6年前に大阪から
引っ越してきました。
家の近くには海があり、山
もある。本当に住みやすい
ところだと思います。子ど
もたちも気に入ってくれて
います。
ただ、この景観は何もし
なければすぐになくなって
しまいます。よそから引っ
越してきた自分たちには
関係ない…そう思わずに、
この美しい海を、そして浜
を守っていくためにも私
たち家族は清掃活動に積
極的に参加していくつもり
です。



深江校区在住
野口 さん一家

参加者の声

清掃活動を終えて…

主催者の声

深江の自然と環境を守る会
副委員長
山中 稔彦さん



こ の活動は糸島市が推
進しているまちづく
り事業の一環として行っ
ているわけですが、あくまで
きっかけにすぎません。
お互いの顔を知っている
隣近所の人たちが、お互い
に手を取り合ってまちづく
りを行う、いわば「地域の絆」
を強めていくことがこれか
らの時代には必要ではない
でしょうか。
きれいな自然を維持し、外
から注目されるようになれば、
きっと人も集まってきます。
この糸島がにぎやかになる
日を夢見ながら活動を続
けていきます。

当 日を迎えるまで、みな
さんが参加してく
れるか心配していましたが、予
想以上の来場者数に驚きま
した。これだけ参加してもら
えるということは、みなさん
の自然に対する高い意識の
表れだと思います。
特に子どもたちの参加が多
かったことが重要なポイント
で、子どもたちに松原のたい
せつさ・ありがたみを知って
もらうことが将来の自然を
守っていくことにつなが
っていきます。
今後も楽しいイベントを
織り交ぜながら活動を継続
していきます。

深江の自然と環境を守る会
実行委員
柴田 順さん



今後の清掃活動予定
日時 12月4日(日)9時～ 場所 二丈交流体験広場
内容 1時間程度の清掃活動後、希望者によるウォーキング大会を予定
問い合わせ 深江公民館 ☎(325)0234



ITOSHIMACITY INFORMATION

笑顔あふれる 人権ポスター入賞作品決定

問い合わせ

糸島市人権政策課 ☎(332) 2075
 糸島市公式HPより 人権ポスター 検索



市長賞(深江小5年生 藤本 絵理菜さん)

人権センターでは、10月1日よりすべての人間は、生まれながらにして、自由であり平等であるとする人権尊重の理念を理解し、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として描かれた「人権ポスター」を展示しています。

糸島市内各小学校より選定され、その中からさらに選ばれたる作品を、紹介します。

展示場所
 糸島市人権センター2階ロビー

展示期間
 12月15日(木)まで

問い合わせ
 糸島市人権センター
 ☎(332)5005
 FAX(332)5006
 Eメール
 Jinken@city.itoshima.lg.jp



教育長賞(引津小5年生 小河 愛弓さん)



人権センター所長賞(前原南小5年生 塚副 友子さん)

男女共同参画へ、 一歩踏み出してみませんか

問い合わせ

男女共同参画センターラポール ☎(324) 2800
 糸島市公式HPより 男女共同・推進団体 検索

**男女共同参画推進
団体登録制度を
利用しませんか?**

- この制度は、男女共同参画推進の市民活動を行う団体を支援するものです。
- 推進団体に登録すると、次のような支援を受けて活動の幅を広げることができます。
- 1 男女共同参画センター使用料の免除(冷暖房費は除く)
 - 2 男女共同参画センターの優先的な使用
 - 3 団体支援事業制度の活用
 - 4 書類保管スペース利用
- 団体登録は、次の事項をすべて満たす必要があります。
- 1 男女共同参画の推進を目的に活動をしている団体であること
 - 2 10人以上の団場で、半数以上が市内在住・勤務であること
 - 3 男女共同参画推進事業に協賛、参画すること
 - 4 政治、宗教、営利を目的としないこと
 - 5 団体会員が女性人材バンクに登録すること

**ラポールを利用して
学習してみませんか**

今は登録は無理かなと思われる団体や「男女共同参画を学習したいグループにお勧めなのがKATEEにシフト」事業。テーマを決め、男女共同参画センターの教材、教材DVD・本などを活用して自由に学習できます。DVやワークライフ・パランスについての職場研修などにも利用できます。



対象 男女共同参画に関心があり学習意欲のある団体など

提出書類 実施内容ある団体など、報告書様式により提出

場所 男女共同参画センターラポール会議室

日時 毎月第2月曜日の9時~12時または第4月曜日の13時30分~16時30分

申込期限 利用希望日の1週間前まで

女性の意見は反映されていますか?

男女共同参画推進登録団体支援事業

「方針決定過程への女性参画~みんなで考えましょう~」

男女共同参画
学習会に
参加しませんか?

市では、男女共同参画の推進に取り組む団体の活動を支援しています。まえばる女性ネットワークは、男女共同参画を推進し、誰もが住みよい地域づくりを目的に活動しています。

今回は、男女共同参画の地域づくりをめざして学習会を開催します。物事を決めるときに女性が参画することの必要性を知り、なぜ参画が進まないのか、問題解決へ向けてみんなで意見交換を行います。

問題提起者 酒井嘉子さん(九州大学名誉教授・前原市男女共同参画審議会元会長)

日時 平成23年12月17日(土) 13:30~15:30

場所 男女共同参画センターラポール 大講習室

参加費 無料

申し込み 不要

託児 無料・6か月~就学前まで(12月10日(土)までに申し込み)

問い合わせ

まえばる女性ネットワーク事務局 ☎・FAX(322)3979



まえばる女性ネットワークの
ロゴマーク

ITOSHIMACITY INFORMATION

「エリアメール」で 防災情報を配信します

問い合わせ

糸島市危機管理課 ☎(332)2110
 糸島市公式HPより エリアメール 検索

防災情報の発信を強化
 市では、災害が発生、または発生する恐れがある場合などに、市が発表する避難勧告などの緊急情報を、より多くの市民のみならず、いち早く正確にお知らせするため、これまでの「防災メール・まもるくん」やホームページに加えて、「エリアメール」を新たに活用して防災情報の発信を強化することになりました。

無料で緊急速報
 緊急速報「エリアメール」はNTTドコモが提供するもので、市内に滞在するドコモ契約者の携帯電話に、一斉に緊急情報を配信するサービスです。この度、同社と市との配信契約が完了したことから配信が可能となりました。

特徴 受信するための申し込みは不要で、月額使用料や通信料は無料です。受信の際は、専用着信音とポップアップ表示でお知らせします。



配信情報
 ①大雨や地震津波などの災害に伴う避難準備情報や避難勧告、避難指示の情報
 ②他、強道ミサイル情報などテロ関連を含む計15項目を配信します。

対象機種 平成20年11月以降に発売した機種と今夏発売のスマートフォンが対象です。

※その他の機種は、受信設定が必要で必要です。詳細は、NTTドコモの窓口または同社ホームページで確認してください。

年末の交通安全・安全安心まちづくり運動 平成23年12月11日(日)～31日(土)

問い合わせ

糸島市危機管理課 ☎(332)2110
 糸島市公式HPより 交通安全 検索

平成23年度福岡県交通安全功労者表彰 ～吉富幸子さんが表彰を受けられました～

吉富さんは、昭和54年から女性の地位向上を目的とした「手をつなぐ糸島地区女性のつどい」(当時)の役員として、交通安全普及のための活動を続けられ、平成14年から姪浜ドライビングスクールと連携して、女性の安全運転意識向上と運転技術の向上を図った「糸島市レディース安全運転講習会」の設立と運営に携わってこられました。また、四季の交通安全運動期間中に街頭活動、毎月1日と20日に交通安全協会の広報車による広報活動を続けられています。



活動を行う吉富さん(右)と前田さん(左)

市と糸島警察署・市交通安全協会・市防犯協会では「年末の交通安全運動・安全安心まちづくり運動」を実施します。

期間中にキャンペーンを実施し、「交通安全のな いまちづくり」安全で安心して暮らせる社会の実現を呼びかけます。

運動の重点
 ①飲酒運転の撲滅
 ②高齢者の交通事故防止
 ③万引き・薬物乱用・青少年の非行防止
 ④市民を巻き込む凶悪犯罪の撲滅

愛称を募集します 糸島市コミュニティバス

問い合わせ

糸島市地域振興課 ☎(332)2062
 糸島市公式HPより バス愛称募集 検索



市では、コミュニティバスに愛称を持つてもらい、利用を促進するため、バスの愛称を募集します。

募集期間
 平成23年12月1日(木)～平成24年1月12日(木)まで(必着)

愛称の条件
 ・糸島のイメージに合致するものであること
 ・市民が愛称を持てるものであること
 ・市内外にアピールできるものであること

※愛称は、糸島市コミュニティバスのPR、時刻表などで発表

などでの活用を考えています。

応募方法
 指定の用紙に必要事項を記入し、持参または郵送してください(電子メールやFAXでの応募は不可)。

応募資格
 問いません
 ※1人で複数の応募やグループでの応募も可とします(グループの場合は、代表者が応募)。

賞金
 選定された愛称の応募者には、賞金5万円を贈呈します(同作品が複数あるときは、5万円を均等割で贈呈)。

応募用紙配布
 および応募場所
 地域振興課 二丈志摩支所 各校区公民館

郵送先住所
 ※応募用紙はホームページからもダウンロードできます。
 〒819-1192 福岡県糸島市前原西1-1-1
 糸島市地域振興課

都市計画の決定・変更に関する 案の閲覧と公聴会の開催について

問い合わせ

糸島市都市計画課 ☎(332)2077
 福岡県都市計画課 ☎(643)3711
 糸島市公式HPより 都市計画公聴会 検索

糸島市では、次のとおり都市計画の決定と変更を行います。これに伴い、案の閲覧とみなさんの意見を伺う公聴会を開催します。

都市計画の決定・変更内容
 前原都市計画区域
 ①区域区分の変更(県決定)
 ②用途地域の変更(市決定)
 ③都市計画道路の変更(市決定)
 ④土地区画整理事業の決定(市決定)

公聴会
日時
 12月2日(金)～12月16日(金)8時30分～17時15分(県庁については17時45分まで)
 ※閉庁日を除く

場所
 福岡県都市計画課および市都市計画課

公聴会
 福岡県都市計画課および市都市計画課

提出期間
 12月16日(金)まで(必着)

会場
 糸島市役所本庁舎501会議室

公聴会への申し込み
 案にかかわる地域住民や利害関係者で、公聴会において発言を希望する人は期限までに公述申出書を提出※公述申出人が多数の場合など、事前に選定を行うことがあります。

申出書配布場所
 福岡県都市計画課および市都市計画課

公述
 公述申出人以外で傍聴を希望する人は、開会30分前から受け付け※公述の申し出がない場合、公聴会は行いません。傍聴の有無を必ず事前に確認してください。

ホームページ
 福岡県都市計画課
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

ITOSHIMACITY INFORMATION

下水道排水設備工事責任技術者 新規登録と更新の受け付けなど

問い合わせ

糸島市上下水道サービスセンター ☎(332) 2081
糸島市公式HPより [下水道登録更新](#) 検索

平成23年度の下水道排水設備工事責任技術者新規登録と更新、および下水道排水設備指定工事店新規指定と更新の受け付けを行います。

該当する人や事業所は、受付期間中に忘れずに手続きをしてください。

※申請書類は、平成24年1月4日(水)から糸島市上下水道サービスセンター(糸島市役所本庁舎第2別館)で配布。

下水道排水設備工事責任技術者・更新

新規登録・更新

要件 次のいずれかに該当する人

①平成23年度福岡県下水道排水設備工事責任技術者試験合格者と県内試験参加市町村での既登録者。

②有効期限が平成24年3月31日の責任技術者で、更新講習を受講した人。

受付期間 平成24年1月16日(月)～31日(火)

指定・更新手数料 1件につき5000円

お問い合わせ 糸島市上下水道サービスセンター ☎(332)2081

受付期間 平成24年1月16日(月)～31日(火)

登録・更新手数料 1件につき2000円

下水道排水設備指定工事店

新規指定・更新

要件 次のすべてに該当する事業所

①県内に営業所を有していること。

②下水道排水設備工事責任技術者を1名以上専属雇用していること。

③下水道排水設備指定工事店規程の要件を満たしている法人個人。

運用を開始しました 高性能消防通信指令施設

問い合わせ

糸島市消防本部 ☎(322) 4222
糸島市公式HPより [消防本部 警防課](#) 検索



最先端の機能を持った通信指令施設

また、火災情報メールを登録している人には、火災の発生をいち早く知らせる機能も備えています。

※管内の火災情報メールの詳しい登録方法は、糸島市のホームページをご覧ください。

また、火災情報メールを登録している人には、火災の発生をいち早く知らせる機能も備えています。

また、火災情報メールを登録している人には、火災の発生をいち早く知らせる機能も備えています。

指令施設完成 運用開始

糸島市消防本部では、高性能消防通信指令施設を更新整備し、運用する運びとなりました。

この施設は、「いとしま安全安心のまちづくり」をめざすための最先端の技術や機能を備えたもので、119番通報を受信してから発生場所の特定、出動隊の編成、出動指令までの処理を自動的に、災害現場への1分1秒でも早い到着を実現しています。

また、近年の社会情勢の変化に伴い、大規模化・複雑多様化する災害対応、高齢化社会における救急業務の高度化に迅速かつ的確に対応することを目的に整備しました。

FAX・電子メールの通報にも対応

聴覚障がい者や身体に不自由のある人でも119番通報が行えるように、FAXや電子メールによる通報などにも対応できる機能となつていきます。

日ごろからの健康維持、予防が 医療費節減につながります



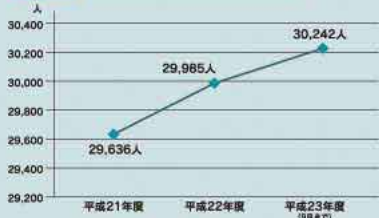
国保の厳しい財政状況

国民健康保険(国保)の財政は、加入者の増加や医療技術の高度化などで医療費が増加する一方、社会経済の低迷により国保税の収入が伸びないなど、非常に厳しい状況になっていきます。

●加入者は増加傾向
国保の加入者は、主に自営業者や農業・漁業従事者、パート、アルバイトなどで健康保険に未加入の人や、事業所を退職した人などです。

●最近では、事業所の都合により退職される人が多く見受けられ、加入者は増加傾向にあります。(グラフ①)

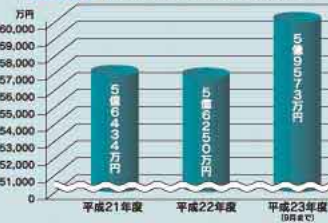
グラフ① 被保険者数の推移(年間平均)



保険給付費は大幅増加

グラフ②は、月平均の療養給付費の状況です。これは、入院や外来、備前などの治療にかかった医療費に対する市の負担分です。平成21年度や22年度に比べ、今年度は大きく増加しています。

グラフ② 療養給付費の推移(月平均)



国保税収入は減少

国保税の調定額とは、各世帯の所得や加入者数などを基に計算し、納税者に通知した国保税の総額です。また、収入額は、実際に納付された国保税の総額です。(グラフ③)

平成22年度は、景気低迷による所得の減少などが影響し、調定額、収入額ともに減少しています。なお、収納率は1.2ポイント上昇しています。

グラフ③ 国保税の調定額と収入額の推移



●医療費の節減にご協力を
医療費が増えると、それに見合った財源の確保が必要になります。最終的には、国保に加入されているみなさんに負担していただく国保税の増加につながるという悪循環を生み出します。

日ごろから健康の維持、病気の予防を積極的にを行うなど、医

糸島市国民健康保険 運営協議会委員募集のお知らせ

市では、国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議する「国民健康保険運営協議会」の委員を募集します。

募集人員 2名 ※書類による選考を実施

要件

市内在住の20歳以上の人で、糸島市国民健康保険の被保険者

任期

平成24年4月1日～平成26年3月31日

募集期間 平成23年12月26日(月)

応募方法

市役所国保年金課に備え付けの申込書に必要事項を記入し提出してください。
※申請書は、市ホームページからもダウンロードできます。

お問い合わせ

糸島市国保年金課
☎(332)2071
糸島市健康づくり課
☎(332)2069

お知らせと訂正

広報「いとしま」11月15日号6ページのインフルエンザの予防接種について、「65歳以上の人や市民税非課税世帯の人などを対象に、費用の一部または全額を助成しています。」とあるのは「65歳以上の人などを対象に費用の一部または全額を助成しています。」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

いとしまエコライフのススメ ～今日からあなたもエコ達人～ No.7

冬場も節電に取り組もう

国では引き続き家庭での節電を呼びかけています。地球温暖化防止のためにも、電気の使い方を見直しましょう。

家庭でできる節電術

家庭でできる主な節電術は右表のとおりです。あなたもできることからチャレンジしませんか。

寒いからといって、暖房の設定温度を上げる前に、暖かい服装などで工夫し、冬を乗り切りましょう。

チャレンジ項目	節電効果(年間)	
	電気量	節約額
暖房時の室温は20℃を目安にする	53.08kWh	1,170円
暖房は必要なときだけつける	40.73kWh	900円
エアコンのフィルターの掃除(月1,2回)	31.95kWh	700円
電気こたつの設定温度を低くする(強→中)	48.95kWh	1,080円
電気カーペットの設定温度を低くする(強→中)	185.97kWh	4,090円

(参考資料) 家庭の省エネ大事典2011年版 (財)省エネルギーセンター

環境家計簿

「節電をしているけれど、どれだけ効果があったのか分からない」。そんな疑問を解決してくれるのが環境家計簿。さまざまな電気節約術も書かれており、記入も簡単。あなたも環境家計簿をつけてみませんか。

配布場所 生活環境課

ホームページ <http://www.ecofukuoka.jp/>



大掃除のごみもきちんと分別

どの家庭でも12月は大掃除の時期ですね。年末の慌ただしさもあって、分別がおろそかになりがちです。一人ひとりの心掛けが、リサイクルとごみの削減につながります。みなさん、協力してくださいね。

資源が混じっていませんか

ごみとして出されるものの中には、きちんと分ければ資源になるものがたくさんあります。例えば、本や雑誌、段ボールなどの紙類、シャツやトレーナーなどの衣類は資源になります。地域の有価資源回収に出しましょう。

粗大ごみはどうしたらいいの

家具や自転車などの粗大ごみは、集積所での収集はできません。次の方法で出してください。

①有料シールによる戸別収集

地域ごとの指定日の7日前までに、収集業者に電話予約し、有料シールを貼って、道路に面した敷地内に出してください。

有料シール(1枚525円)は指定ごみ袋販売店で購入できます。

②クリーンセンターへの個人搬入

直接、クリーンセンターに搬入して処分することができます。処分手数料は、10kgごとに140円です。

*市役所への確認は不要です。



ごみを分けて資源に	可燃ごみの量の変化	
	平成22年4月～10月	15,050トン
	平成23年4月～10月	15,233トン
	前年比	+1.2%

問い合わせ
糸島市生活環境課
☎(332)2068
FAX(321)1139



冬の寒さに要注意

ポイントは、暖かい部屋と寒い部屋の温度差をできるだけなくすること。心筋梗塞や脳梗塞の発生率を抑えることができます。

ヒートショックをご存じですか

温度の急激な変化により血圧が急上昇、急降下したり、脈が早くなったりする状態がヒートショックです。冬の寒い時期に暖かい部屋から廊下やトイレなどに行くと「ソクソク」として震えることがあります。この状態もヒートショックの一つです。

問題は、心臓や脳の血管に過度の負担がかかることで、心筋梗塞や脳梗塞などを誘発することです。ヒートショックによる年間死者数は、交通事故による死者数の約2倍で、1万人を超えるといわれています。昨年、糸島市でもこの時期に救急搬送される人が増加しました。



(資料提供) パナソニック電気 すむむ。

あなたは大丈夫?

- 65歳以上である
- 高血圧や糖尿病の人、動脈硬化のある人
- 肥満気味の人
- 睡眠時無呼吸症候群のような呼吸に問題がある人
- 熱いお風呂に入るのが好き
- お酒を飲んでからお風呂に入ることがある

1項目でも該当する人は要注意!!

●温度差の緩和と予防

温度差で起こるヒートショック。ポイントは、その温度差をできるだけ緩和することです。

お風呂に入る時などは、浴室に換気乾燥暖房の設備があれば理想ですが、ない場合は湯船のお湯をかき混ぜて、湯気を十分立たせるか、シャワーでお湯を張るなどして、入浴前に浴室の温度を上げましょう。脱衣所も浴室と同じように、あらかじめ暖めておくなどの工夫が必要です。

●血液検査で健康状態の確認を

動脈硬化などは自覚症状がありません。血液の中のコレステロール値が高いメタボリックシンドローム(症候群)など、脂質値の異常によって動脈硬化が進行します。「自分は大丈夫だ」と思っている、年に1回は血液検査などを行い、健康状態を確認することが必要です。



特定健康診査を受けましょう

糸島市国民健康保険に加入している40歳～74歳の人に、9月中旬に個別特定健康診査券(薄緑色)を送付しています。この受診券が利用できるのは、平成24年3月末までとなっています。早めに医療機関での受診をお願いします。

問い合わせ 糸島市健康づくり課 ☎(332)2069

いとしま Event Guide in Itoshima 講座&イベント案内



親子DEクッキング



そば打ち教室



ジャンボカルタ大会



X'masコンサート

モノに出あう。
コトに出あう。
ヒトに出あう。
それは、明日の
たからものー

ファームパーク伊都国 関連イベント

体験

あなたの新しいこと『始めませんか？』

～公開講座参加者大募集～

やってみたくて、なかなか一歩前に踏み出せない、機会がない、そんなことってありますよね。

ファームパーク伊都国では、そんなあなたを後押しする公開講座を、盛りだくさんで開催します。

さあ、この機会に『あなたの新しいこと』を始めてみませんか。

講座名	講座日(平成24年)	講座料	定員
そば打ち教室 「そば打ち名人」	1月11日(休)、2月14日(水)、3月13日(水) 10時～13時 全3回	3,700円	20名
はじめての DIY	毎月第2・4土曜日 9時30分～15時30分 1月14日(土)開始～3月 全6回	10,000円 (別途材料代がかかる場合あり)	5名
陶芸教室	日曜日 9時30分～12時 1月15日(日)、1月22日(日)、2月19日(日)、 3月11日(日) 全4回	2,000円	30名

※ファームパーク伊都国 ☎(322)7661 要事前申し込み
※毎月曜日(月曜日)が祝日のときは翌日が休館日

おいしくできるかな!～親子DEクッキング～

冬休み特別企画「親子DEクッキング」を開催します。クッキングメニューは「きんとん」。
甘くておいしい「きんとん」は、お正月にもぴったり。奮ってご参加ください。

12月23日(金・祝)9時～
※他土公民館(ファームパーク西側) 定8組(16人)※先着順
※小学生以上500円、幼児300円 定12月20日(水)まで

～年の始めも地産地消～

『ジャンボカルタ大会』開催!

お正月気分がまだまだ残る1月、親子で地産地消ジャンボカルタを楽しみませんか。

匝布団サイズの巨大カルタで、カルタ大会を盛り上げます。

平成24年1月9日(月・祝)
※ファームパーク伊都国交流室 定20組(先着順)
※大人300円、子ども200円(昼食代として) 定1月5日(木)まで

いとしま応援プラザ 関連イベント

体験&交流

版画を彫ってオリジナル「手ぬぐいハンカチ」を作ろう!

自分で彫った版画で、「手ぬぐいハンカチ」を作ります。出来上がった版画は、クリスマスカードや年賀状にも使用できます!

講師:茂浪ゆう子さん(版画家)

12月10日(土)13時～16時
※いとしま応援プラザ2階イベントルーム
定3,000円(材料費含む・珈琲または紅茶とスイーツ付き)
定10人(先着順)



いとぶら交流カフェ

起業をめざす人、すでに起業している人、販路拡大をしたい人、誰かにアイデアを求めたい人など...

多くの人たちと出会い、情報交換することで、新しいものが生まれる場。お茶を飲みながら誰でも気軽に参加できる交流カフェです。

12月17日(土)14時～15時30分
※いとしま応援プラザ2階イベントルーム 定500円(珈琲または紅茶とスイーツ付き)
※要事前申し込み 定名刺をご持参ください。またPRしたい人はチラシなどをご持参ください。

※いとしま応援プラザ ☎(334)2066 定10時～18時(月曜休館)

糸島市吹奏楽団 コンサート

X'masコンサート2011

吹奏楽で、ひと足早いクリスマスを楽しんでみませんか。3部構成で、クラシックやポップス、クリスマスソングをお届けします。

第1部 シンフォニックステージ
第2部 ディズニースーシー10周年記念ステージ
第3部 ポップス&クリスマスソングステージ

※曲目構成など変更になる場合があります

12月11日(日)14時～
※開場は13時30分～

※伊都文化会館大ホール
※前売り券400円、当日券500円
小学生未満は無料
※糸島市吹奏楽団(代表:田中)
☎(323)2985
※チケットは糸島市観光協会本所・支所で取り扱っています。

慢性腎臓病予防講演会

学ぶ

自覚症状もなく進行し、重症化してしまう慢性腎臓病。今や、日本人の10人に1人が慢性腎臓病といわれ、約300人に1人が透析を受けています。福岡県内では、1万人以上の方が透析を受けています。

慢性腎臓病とは何か、早期発見の重要性や予防について専門医師が分かりやすく話をします。

講演内容
『他人事ではない慢性腎臓病』

講師:平野直史さん(白十字病院腎臓内科部長 日本腎臓学会腎臓専門医)

12月12日(月)15時～17時

※福岡県糸島総合庁舎 2階大会室
※糸島保健福祉事務所健康増進課
☎(322)1439
FAX(322)9252

子育て支援ボランティア講座～つながり楽しむ子育てサロンをめざして～

学ぶ

糸島市内の子育てサロンでは、乳幼児親子が楽しく過ごせるように多くのボランティアが活躍しています。

あなたも講座を受講して、子育て支援ボランティアとして活動を始めませんか?



回	日時・場所	講師	内容
1	平成24年 1月21日(土) 10:00～12:00 こらほ糸島	栗浦寿美代さん (香蘭女子短期大学 講師)	いまどきの子育て事情 子育て支援が必要な理由 地域でささえる子育てとは?
2	平成24年 1月28日(土) 10:00～12:00 こらほ糸島	●栗浦寿美代さん ●市内子育てサロン スタッフ数名	子育てサロンスタッフとしての関わり方 子どもの遊びと発達 糸島市内子育てサロンのスタッフとの交流

※子育てに興味・関心がある人、子育てサロンなどでボランティアスタッフとして活動したい人
定20人(要申し込み) 定無料
※こらほ糸島(前原中央3丁目4番3号NTT前原ビル1階) ☎FAX(324)9181

糸島市図書館 おはなし会

子育て

読書ボランティアによる絵本の読み聞かせなどを行います。

12月10日(土)11時～11時30分
12月24日(土)11時～11時30分

※糸島市図書館おはなしのへや
※小学校低学年くらしまで
※糸島市図書館 ☎(321)1432

唐津街道前原宿 経トラ市

市&コンサート

クリスマスイベントとして、楽器(かりゆし)とふれあう子どものためのコンサートを開催します。

12月25日(日)10時～15時

※前原名店街
※前原名店街 長田(オサガ)贈物店
☎(322)2240

前原・東風校区交流 子ども駅伝大会・健康マラソン大会

スポーツ



寒風の中、小学1年生から中学生までが参加し、棒をつなぎ、校区や行政区の名誉をかけて走ります。また、健康マラソン大会も行われます。

12月11日(日)9時～開会式

※東區小学校周辺
※前原公民館 ☎(332)2481
※東區公民館 ☎(321)1114

白糸の寒みそぎ

祭り

およそ400年前から続く伝統行事「白糸の寒みそぎ」は無病息災や五穀豊稔を祈るお祭りです。

年男を中心に、勇壮な締め込み姿の男たちが、真冬の冷たい川に入り、勢よく水を掛け合う姿は圧巻です。迫力ある勇ましい姿と代々引き継がれる伝統行事をぜひご覧ください。



12月17日(土)23時45分～

※白糸熊野神社
※糸島市観光協会 前原支所
☎(322)2098

いとしま Event Guide in Itoshima 講座&イベント案内



糸島駅伝大会

交流

認知症介護者の交流会

身近な人が認知症になったら、本人はもちろん、介護家族にしか分からない不安、苦しみ、葛藤などが生まれます。同じ立場の人との交流をおし、共に考え共に励ましてあげようことで元気になり、より良い介護につなげることを目的に、交流会を開催します。一人でも悩まず、同じ悩みを持つ人同士、心を聞いて語り合しましょう。



12月3日(土)
13時～15時
◎健康福祉センターあごら
◎公益社団法人 認知症の人と家族の会 福岡県支部世話人(下村)
☎(325)1675

学ぶ

北朝鮮人権侵害問題啓発週間「知っていますか? 遠く離れた地で日本を思う人達がいることを…」

〈北朝鮮当局による人権侵害に関して〉
それは、「よその誰か」の問題ではなく、「国民一人ひとり」が認識して取り組むべき課題です。
わが国の喫緊の国民的問題である拉致問題の解決を始めとする北朝鮮当局による人権侵害問題への対処が国際社会を挙げて取り組むべき課題とされる中、この問題についての関心と認識を深めていくことがたいせつです。

パネル展 12月10日(土)～16日(金)
◎福岡県庁1階ロビー
拉致問題を考えるみんなの集い(北朝鮮人権侵害問題啓発講演会)
12月16日(金)13時30分～16時30分
◎大牟田文化会館 無料
◎福岡法務局・人権擁護部 ☎(832)4311
◎福岡県保護・援護課 ☎(643)3301

スポーツ

心に♡地域に光を! 福吉駅前イルミネーション

いよいよクリスマスシーズンになりました。平成15年から始まったこのイルミネーションは、地元ボランティアグループ「二十日会」によるもので、地域を明るく照らすとともに、青少年の健全育成の願いも込められています。美しいイルミネーションで、地域に、そして住民の心に、明るく光が注がれますように!

イルミネーションを 観てください!

各家庭・企業などで眠っていて、まだまだ使えるイルミネーションがあれば、寄附していただけませんか? 福吉駅前を明るく照らし、地域を元気にするため、みなさんのご協力をお願いいたします。

12月11日(日)～平成24年1月15日(日)
◎J R福吉駅前
◎糸島市観光協会二支所 ☎(326)6334

スポーツ

第42回糸島駅伝大会 出場チーム募集

糸島駅伝大会実行委員会では、可也山を周回するコースで駅伝大会を右のとおり開催します。みなさんも職場や地域などでチームをつくり、健脚を競ってみませんか。

平成24年2月5日(日)8時～開会式 10時～スタート
◎糸島市立可也小学校(開会式)
料6,000円(スポーツ保険料を含む)
◎糸島駅伝大会実行委員会事務局備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、下記の同事務局へ郵送またはFAX ※締め切り1月13日(金) ※郵送の場合は当日消印有効
◎糸島駅伝大会実行委員会事務局(担当:岡本)
〒819-1321糸島市志摩小富士14-34
☎(327)2737 FAX(327)4164

大会規定
1チーム10人以上(女性2人以上)で構成
計10区のリレー方式
※申し込み多数の場合、1団体からの複数参加を制限することがあります。

博物館だより

志摩歴史資料館 ● 秋季企画展

『大戦の記憶と絆』

現在開催中 ※平成24年1月22日(日)まで

戦後66年という歳月が流れ、糸島の地に海軍の航空基地や飛行訓練場があったことを記憶している方は少なくありません。太平洋戦争末期、全国から若い人たちが訓練生として集められ、糸島に宿泊していました。また、ここから戦地へと向かった方も多かったといわれています。

今回の企画展では、海軍基地の遺品とともに、戦地から家族へと送られた手紙などを展示しています。戦時下という混乱した時代の中、家族を気遣う兵士たちの情感のこもった手紙をご覧ください。

申し込み・問い合わせ

志摩歴史資料館
☎(327)4422

観覧料
大人2100円(1500円)
高校生1000円(500円)



- 予科練宿舎の看板
糸島市志登の個人宅に保管されている看板。ここから若い兵士たちが元岡飛行訓練場へと通っていた。
- 航空羅針儀
飛行方位を計測するための携帯用機器。昭和19年に引津湾に墜落した偵察機より引き上げられたもの。
- 炊放場跡(ほうすいじょうあと)
志摩久家に残る14基のかまど跡。ここではたくさんの兵士たちの食事が作られていた。

伊都国歴史博物館 ● 12・1月の催しもの

- 館長講話**
「後国から日本国へ」
講師 榎原英夫 館長
- 第9回「白村江の戦い」**
筑紫王朝の消滅と新生日本の誕生
期日 12月10日(土)
第10回「壬申の乱」
古代最大の内乱とその真実
期日 平成24年1月14日(土)
- 第9回「古墳の終焉と寺院の造営」**
期日 12月18日(日)
第10回「いわゆる神籠石と朝鮮式山城」
期日 平成24年1月15日(日)
- ※いずれも14時5分
資料代 2000円
先着 1000名
- 申し込み・問い合わせ**
伊都国歴史博物館
☎(322)7085

美術館だより

会場 ……伊都郷土美術館
入場料 ……無料
開館時間 ……9時～17時
(入館は16時30分まで)

糸島市老人クラブ連合会前原支部作品展

今年で8回目を迎える作品展。絵画、書、写真、手芸、工芸、竹・藁細工、絵手紙、俳画など、さまざまな分野の作品約100点を展示します。高齢者の創作意欲と長年培われた技の数々をご覧ください。なお、今回は、二丈および志摩支部の会員の方々にも出品にご協力いただいております。

期間 12月13日(火)～12月18日(日)
観覧料 無料
問い合わせ 江藤道男
☎(324)9005

〔略語の説明〕 ◎=会場 所在地、場所 〇=問い合わせ 別=対象 定=定員 料=料金、費用 展=持参するもの 見=託見 申=申し込み 開=開館時間 休=休館日 〇=その他

くらしの情報

12月	日	月	火	水	木	金	土
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31

■12月の納期

固定資産税	3期分
国民健康保険税	7期分
介護保険料	7期分
後期高齢者医療保険料	6期分
保育料	12月分
市営住宅家賃	12月分
水道料金・下水道使用料	5期分

12月3日～9日は 障害者週間です

障害者への「社会参加」推進には、一人ひとりの理解と認識が必要なもの。道路に貼られた点字ブロックは、視覚障がい者が歩くために必要なもの。盲杖を使いながら歩きます。そこに障害物があっても、視覚障がい者には分かりません。ぶつかったり、つまづいたりする恐れがあり、非常に危険です。点字ブロックを遮らないように気を付けましょう。



点字ブロックの上にも止められた自転車

いとしま TOPICS

生活の豆知識

臨時職員を募集します
福岡県警察採用創出事業

卒業生 災害時要援護者調査・就労希望者調査データ集計事業

業務内容 調査票のデータ集計や整理および関連事務

募集人員 1人

勤務場所 糸島市本庁舎障害福祉課

期間 平成24年1月5日(木)～平成24年3月末日(木)まで

勤務時間 8時30分～17時15分

賃金 月額64,300円

※社会保険・雇用保険あり、一部自己負担あり

応募要件 現在失業中の人で、パソコンでの表作成やデータ整理ができる人

応募要領 障害福祉課に、直接本人が申込書を提出。

※提出時に面談があります

申込書 障害福祉課の窓口へ備え付けている他、市ホームページからもダウンロードができます。

応募期限 12月15日(木)17時

選考方法 書類選考で決定し、12月下旬に通知します。

問い合わせ 糸島市障害福祉課 ☎(332)2073

申し込み方法 願書による申し込みまたはインターネットによる申し込み

申込期間 12月15日(木)～平成24年1月10日(火)

※郵送の場合は、1月10日(火)消印有効

申込先 〒812-0034福岡市博多区下呉服町1-15(ふくおか石油会館3階)

(財)消防試験研究センター 福岡県支部

※受験願書は、糸島市消防本部予防課および消防署前原、二丈・志摩出張所に準備しています。

試験準備講習会も行います
講習日 平成24年2月18日(土)、19日(日)

場所 糸島市消防本部3階研修室

糸島市消費生活センター ご注意ください!

「市役所から排水管の点検に来ました」と突然、作業服姿の男性が2人、Cさんの自宅を訪ねてきました。

市役所の関係者ならと安心したCさんが点検をしてもらったところ、「部品を交換しないと大変なことになる。今なら安くなりますよ」と言われ、不安になり交換を頼んでしまいました。

Cさんが工事代金を支払うと、2人は、領収書も渡さずにあつという間に帰っていきました…。

最近、市役所や電力会社などを名乗り、点検を口実にいきなり訪問し、不安にさせるような言葉で工事を勧める事例が発生しています。

市役所から訪問して、料金を請求することはありません。不審に思った場合は、すぐに市役所や電力会社に直接電話し、問い合わせてください。

まずは、ご相談を

問い合わせ
糸島市消費生活センター ☎(332)2098
相談日時 月～金曜日(土・日・祝日を除く) 9時～17時

※詳しくは、お問い合わせください。

問い合わせ 糸島市消防本部予防課 ☎(332)4222

放送大学平成24年度入学生募集

放送大学は、BSデジタル放送(平成23年10月放送開始)を利用して授業を行う、国がつくった通信制の大学です。心理学・福祉・経済など幅広い分野の科目を1科目から自宅のテレビなどで学べます。15歳以上(全科履修生は18歳以上)であれば無試験で入学でき、学士教養の学位が取得できます。短大・専門学校などからも編入入学できます。入学のチャンスは年2回(4月と10月)です。大学院もあります。

募集期限 平成24年2月29日(水)

資料請求・問い合わせ 放送大学福岡学習センター ☎(473)13665 FAX(473)13662

出合いのチャンスを探します
NPOいとしまでは、糸島

での仲間づくりや「友活」、また結婚したいけれど出合いやきつかけがない独身男女に出合いの場を提供し、真面目な恋愛、結婚を応援します。

日程 毎月定例会を実施

会場 糸島の飲食店

応募要件 独身の男女

入会金・登録料 無料

年会費 3000円

申し込み・問い合わせ NPOいとしまお結び事務局 局担当 馬場 ☎090(9577)7424 Eメール onusub@itoshima.tv ホームページ http://itoshima.cc/npo/

司法書士による無料法律相談会 気軽に相談ください。振り込み詐欺や架空請求などの悪質商法、多重債務、相続、遺言など身近な法律トラブルについての相談会です。事前予約は不要、秘密も厳守されます。気軽に相談ください。

日時 12月10日(土)10時～13時

会場 深江公民館

問い合わせ 福岡県司法書士会福岡西支部 ☎(045)58222

動物の引き取り業務 年末年始は一時期中止

糸島保健福祉事務所では、次の期間中、犬や猫などの動物の引き取り業務を中止します。

ご迷惑をおかけしますが、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

中止期間 12月21日(水)～平成24年1月9日(月・祝)

※12月20日(火)の引き取りの時間は、9時～11時です。

問い合わせ 糸島保健福祉事務所 ☎(332)3268

高齢者の障害者控除 6か月以上寝たきりで、食事や排便などの日常生活に支障のある65歳以上の人は、所得税・市県民税の申告の際に「特別障害者控除」を受けることができます。

また、65歳以上の人で身体障害者手帳などを持っていない人でも、障害者手帳を持っていない人と同じ程度の障害があると市が認定した場合は、「障害者控除」もしくは「特別障害者控除」を受けることができます。

パブリックコメントを募集中 平成24年1月4日(水)まで (郵送の場合、当日消印有効)

糸島市都市計画マスタープランの全体構想

都市計画に関する基本的な方針を示す都市計画マスタープランを策定中です。この計画の全体構想の素案を示し、市民のみなさんからの意見を募集しています。

意見を提出できる人

- 市内に居住または通勤、通学する人
- 市内に事務所または事業所を有する法人、その他の団体
- 市内に土地や家屋を所有する人およびその権利を有する人

申し込み・問い合わせ
糸島市都市計画課 ☎(332)2077 FAX(329)1311 toshikeikaku@city.itoshima.lg.jp

高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画

高齢者福祉を推進するため、計画を策定中です。この計画の素案に対し、市民のみなさんからの意見を募集しています。

提出先・問い合わせ
糸島市介護保険課 ☎(332)2070 FAX(321)1139 kaigohoken@city.itoshima.lg.jp ホームページ http://www.city.itoshima.lg.jp/soshiki/15/

〈共通事項〉

素案の設置場所 市役所本庁舎担当課窓口、二丈庁舎総合窓口課、志摩庁舎総合窓口課、各校区公民館 ※市のホームページにも素案を掲載しています。

意見の提出方法

- ①所定の用紙に住所、氏名、連絡先を記入の上、意見を記載してください。
- ②持参、郵便、FAX、Eメールのいずれかの方法で提出してください。

※住所、氏名、連絡先の記入がないものは無効とします。

郵送先 〒819-1192糸島市前原西1-1-1 糸島市都市計画課または介護保険課

ただし、医師の証明が必要
な場合もあります。

※この認定は、介護保険の要
介護認定とは判断基準が
異なりますので、要介護認
定の状況によって、一律に
障害者控除に該当するも
のではありません。詳細に
ついては問い合わせせてく
ださい。

問い合わせ
糸島市介護保険課
☎(332)1111

◆年末年始の図書館
休館のお知らせ

12月28日(水)・平成24年
1月4日(水)は休館します。
移動図書館車や学習室も
利用できませんのでご注意
ください。
平成24年1月5日(木)10
時から開館します。
※休館中に本を返却するこ
ときは、図書館玄関横のプッ
クポスト(返却ポスト)へ
入れてください。

◆延滞本はありませんか
返却期限が過ぎた図書館
の本が家にありませんか。他
の利用者が返却を待ってい
る場合もあります。延滞本は
速やかに返却をお願いします。

問い合わせ
糸島市図書館
☎(321)1432
糸島市図書館二丈館
☎(332)2118
糸島市図書館志摩館
☎(332)2119

ぶらり糸島
FM福岡で、糸島市の
特集番組放送中!!

FM福岡で、糸島市の特集番組「ぶらり
糸島」を放送しています。糸島市をたくさ
んの人たちに知っていただくために、市の魅
力をたっぷり紹介する番組です。

古代から栄えてきた糸島の歴史をはじめ、特産
品やイベント、糸島市の行政など糸
島の現在を伝えていきます。

新しい情報を次々に発信し
ていきますので、ぜひ聴いて
みてください。

番組タイトル▶「ぶらり糸島」
放送日時▶毎週日曜日
9時30分～9時55分
放送期間▶平成24年3月25日(日)まで

問い合わせ
糸島市
秘書広報課
☎(332)2111



パーソナリティーの
波佐間 崇晃さん
(糸島市在住)

地域に心を寄せて

こころコラム

人権・同和教育広報委員 吉丸 泰生

これまでの歴史上、経験
したことのない急速な「少
子高齢社会」の到来は、わが
国社会の根本的な仕組みや
国民生活に大きな影響を与
え、さまざまに深刻な課題
を突きつけています。

全国各地で報道される「孤
独死」・核家族化の進行によ
る「二人世帯」の増加・幼児
や高齢者虐待・過疎化の波
による「限界集落」の出現・「買
い物難民」等々の課題に、私
たちはどう考えどう向き
合っているのでしょうか。

豊かさを「物と金」とは
き違えた戦後の暮らし方が、
人間関係を希薄にし、地域
の絆を弱めてしまったので
しょうか。それとも、高度経
済成長下の利益優先主義を、
今日まで引きずり対策を先
送りしてきた政治、ある

「住みやすい・住んでよかつ
た」と思える地域をめざし
た運動が、行政区ごとに進
められています。

「協働のまちづくり」や「自
主防災組織」設立などの取
り組みは、一人ひとりの命
や暮らしを守る「人権のま
ちづくり」そのものです。

無縁社会を一つ一つ切り
崩し、無理のない自分にで
きる小さなことを周りの方
と進めていくことは、少子
高齢社会の課題解決につな
がる重要な取り組みだと思
います。

私の住む前原南



隔だまり(居場所)運動の様子

わがばらう日本!

このたびの震災で、被災されたみなさまに
心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災 被災地復興支援報告 ⑥



**松本嶺男市長が
宮城県での被災地を視察しました**

3月11日の東日本大震災を機に、自治
体における「危機管理」は最重要課題とな
りました。私も、10月中旬、宮城県の被災
地を視察しました。市民の生命と財産の
すべてが流され、かつての田園風景は地
盤沈下でまるで海の様相。復興にはかな
りの期間と労力を要すると思われ、でき
る限りの支援を継続するつもりです。

さて、被災地を目的に訪れるに際して強く感
じたこと。それはわれわれは「逃げる」こと
しかできないということ。災害時、市も万
全を期しますが、市からの勧告や指示に頼
らず、まずは自分の身は自分で守ってほし
い。そして、隣近所や自主防災組織など、地
域内で助け合ってほしいと考えています。

糸島市では現在、地震・津波・原発事故
を想定した地域防災計画の見直しを進
めています。この視察で感じたことを生
かし、より現実性のある防災計画を策定
して参ります。

市民のみなさ
んには、自主防災
組織設立の推進
に「理解いただき、
日ごろの備えを
十分にしていただ
くようお願いい
たします。

松本嶺男

糸島市の交通事故・火災発生状況(10月中)

交通事故		火災発生	
件数	53件	件数	1件
死者	1人	建物	1件
傷者	82人	その他	0件
		救急車出動	324件

編集後記

今回の特集で取り上げた「いとしま共創プラン」。どのようにし
てみなさんに読んでもらい、理解していただくか。企画の段階から
試行錯誤を繰り返して、賛否両論は承知の上で、一つの事業を密着取
材することに決めました。

繰り返して足を運んで取材を続けているうちに、私なりに感じた
まちづくりの意味。それは「隣近所との付き合い」でした。言葉にす
れば、簡単で、当たり前のことに感じるかもしれませんが、今の私
たちの生活から薄れてきている部分でもあります。お互いの顔を
知り、信頼し合うことで校区の一体感が増し、災害時に大きな
力を発揮するのだと思います。(友岡)

糸島市の人口(10月末現在)

校区名	人口(人)	男性(人)	女性(人)	世帯数(世帯)
波多江	12,236	5,853	6,383	4,775
東風	7,948	3,953	3,995	3,048
前原	10,854	5,070	5,784	4,238
前原南	8,788	4,093	4,695	3,519
南風	8,723	4,181	4,542	2,898
加布里	7,549	3,579	3,970	2,880
長糸	2,170	1,023	1,147	765
番土	3,848	1,869	1,979	1,388
怡土	7,464	3,646	3,818	2,748
一貫山	3,620	1,702	1,918	1,283
深江	5,399	2,499	2,900	2,030
福吉	4,178	1,953	2,225	1,493
可也	9,022	4,314	4,708	3,168
桜野	2,741	1,306	1,435	923
引津	5,657	2,650	3,007	2,077
合計	100,197	47,691	52,506	37,233
先月比	-7	1	-8	33



両日合わせて約1,000食が配られた

郷土料理「そうめんちり」に舌鼓

なんでも糸島 収穫祭

遊ぶ、食べる、体験する…糸島の魅力を堪能できる「なんでも糸島 収穫祭」を、11月5日・6日にファームパーク伊都国で開催しました。

会場内では、農産物の販売、芋掘りやそば打ち、陶芸体験などができるコーナーが設けられ、悪天候にも関わらず、多くの来場者でにぎわいました。

中でも、糸島の郷土料理「そうめんちり」の試食会には、たくさんの人たちが行列をつくり、その美味しさに舌鼓を打っていました。

JF糸島女性部が魚のさばき方を指導

第5回さかなっ子調理教室

旬の魚を食し、その美味しさ・新鮮さを体感してもらうことを目的に、11月8日、一貴山小学校6年生を対象に、さかなっ子調理教室が開催されました。

材料は、この日の朝、姫島で水揚げされたアジ約130匹。包丁の扱いに慣れていない児童たちが、女性部スタッフの指導を受けながら、アジの三枚おろしに挑戦。その後フードプロセッサーですり身にしたものをフライパンで焼き、特製の「JF海盛バーガー」を完成させました。



「コツを掴（つか）んだら楽しかった」と次々にアジの三枚おろしに挑戦する児童たち

地域の溢れる魅力を発信

九州大学で伊都祭2011

秋晴れの11月13日、九州大学と地域が連携して、地域の魅力を発信する祭り「伊都祭2011」が開催されました。

会場は、焼き牡蠣、パン、餅など、糸島の美味しい食を提供する露店の他、紙飛行機教室や足もみ体験、ミニ水族館、風船サッカー、スタンプラリーなど、学びながら楽しむ企画やステージが満載。子どもからお年寄りまで楽しむことができ、多くの家族連れでにぎわいました。



大学と地域住民による、工夫を凝らしたイベントが盛りだくさん

国内初 南風台にスマートハウス

非常用発電を備えたモデルハウスが誕生

11月7日、糸島市南風台で停電時にエネファームによる電力復旧を体験できるモデルハウス（スマートハウス）の開所式が行われました。

SOFC型エネファームと太陽光発電、蓄電池システムの3電池を使い、突然停電しても即座に自家発電に切り替わり、何事もなかったかのように電気を使うことができます。

このような実証実験ができる施設は国内初で、今後の糸島の新たな拠点として期待されます。



糸島市南風台に建てられたモデルハウス

志摩桜井神社ご神体遷座祭

約20年に1回の伝統神事

糸島市志摩の桜井神社で11月12日、大神宮へご神体の遷座が行われました。

この神事は、かつては20年ごとに行われていたもので、今回は大神宮の屋根のふき替えに伴い17年ぶりに実施。与止姫宮に移されていたご神体を、大神宮へ戻す神事で、夜7時ごろになると氏子総代が神輿を担いで、神職が「オー」と声を出しながら暗い夜道を歩いて本殿に向かい、無事に遷座されました。



ご神体は提灯の明かりを頼りに、慎重に遷座された

篠原一行政区で自主防災訓練

大規模災害を想定し、炊き出しも実施

11月13日午前10時に篠原一行政区でサイレンが鳴り響く。住民たちが一斉に糸島高校に集まり、災害を想定した自主防災訓練が行われました。

グラウンドでは、消防団によるポンプ始動の実演や消火器を使った消火訓練、応急手当で講習などが行われた他、人数分の炊き出しや、配膳などのチェックも併せて行われました。

参加者は、いざという時のための知識を身に付けようと真剣に学んでいました。



「火事だ」と叫びながら消火器を使って消火訓練を行う参加者

女子プロ野球選手という夢に向かう

可也小学校6年生
山本 千尋さん

福岡県タレント発掘事業の育成プログラムで、さらなる能力を開発中



スポーツ万能の山本さん。家族全員が野球好きで、特に3歳年上のお兄さんが野球をする姿に影響を受け、小さいころからお父さんと庭でティーバッティングやキャッチボールをしていました。

小学4年生の時、自ら地元の少年野球チームである「可也ジュニアロイヤルズ」に入団。唯一の女子部員ながらレギュラーとしてショートを任せられ、守備の要を担っています。100m走13秒94という俊足を生かし、打順は1番。出塁すると果敢に盗塁を狙い、ランニングホームランもたびたび放っています。読売ジャイアンツの坂本勇人選手

美枝子の分野にも挑戦しています

手のように、攻守でキレのあるプレーをすることが目標です。足の速さの他、跳躍などの基礎的な運動能力が評価され、平成23年度福岡県タレント発掘事業で、県内選抜の小学6年生35人のうちの1人に選出されました。この事業では、子どもの得意



うちの子紹介
田嶋 晃章くん(長男・中)
 尊也くん(次男・後)
 菜ちゃん(長女・前)
(10歳と8歳と6歳/美咲が丘)
正嗣さん・友香さんの長男・次男・長女

毎 週末しみに過っている国術拳法。10月に行われた糸島市の大会では、3人も入賞しました！
性格は、なぜかみんなマイペース。ケンカが絶えないけど、本当はとっても仲良し3兄妹です。
元気に大きくなって、自分の好きなことを頑張って、自分で選んだ道を歩んでほしいと思います。

市民のみなさんのお子さんへのメッセージをお待ちしています。
申し込み・問い合わせ/糸島市総務広報課 ☎(332)2111



糸島防災士会「てまがえ隊」
田中清和さん・美枝子さん

「てまがえ隊」の名称は、農作業などで地域の人が協力し労力を出し合う「手間替え」に由来。てまがえの「結」の精神で防災活動を展開したいという思いが込められています。

「てまがえ隊」は、平成21年7月21日、糸島を襲ったゲリラ豪雨。当時、消防本部で通信指令室担当だった清和さんは、「恐怖を感じた高齢者などから、次々に119番通報が入りました。夜7時前後で、消防署は人員が少ない時間帯。隊員の体制が整わずパニック状態になりかけるなど、39年間の消防勤務で、これまでにない経験をしました」と当時を振り返ります。この時、地域による連絡・見回り体制の整備や、日ごろの防災活動の必要性を痛感。先に防災士となった美枝子さんと市内の防災士が数人集まり、他の防災士に呼びかけ「てまがえ

隊」を結成するに至ったそうです。

現在「てまがえ隊」は、自治会やサークルを対象に、防災教室や救急救命講習など、市民への啓発活動を行っています。糸島市の呼びかけで自主防災組織が徐々に設立されていく中、田中さん夫妻は「大災害発生時、自動・共助・公助の割合は7:2:1。自分の命は自分で守る発想がたいせつ。併せて、地域や近隣の人々が互いに協力しながら、組織的に防災活動に取り組むことが必要。自主防災組織をつくって安心せず、地図で危険箇所を確認し、自分の足でまちを歩き、記録し、訓練してほしい。その繰り返しで非常時にとっさに動くことができ、判断できるので」と日ごろからの備えと、意識改革の重要性を訴えます。

「てまがえ隊」は、要請があれば、自主防災組織の立ち上げや機能拡充のお手伝いをします。と協力的。清和さんを含む5人は福岡県から認定された「災害図上訓練指導員」という心強い存在でもあ

ります。てまがえ隊の力を借りて、「自分たちのまちは自分たちで守る」という自主防災の意識を強くしましょう。

「てまがえ隊」は、特定非営利活動法人「日本防災士機構」に認定された地域・社会の防災力向上のために必要な意識・知識・技能を有する人。災害発生時にはいち早く被災現場で役に立つ活動を行うことが求められるため、社会のあらゆる地域や職場で防災士が存在し活躍することが望まれます。指定の研修講座を受講し試験に合格すれば、年齢・職種・国籍を問わず、誰でもなることができます。

詳しくは、日本防災士機構の公式ホームページ <http://www.boushisai.jp> をご覧ください。

自分のまちは自分で守る 防災士として夫婦で啓発活動に従事

自主防災組織

地域の絆が命を救う

3

糸島市在住の防災士が集い、地域住民と助け合いながら防災活動を行う目的で、平成21年8月に設立された糸島防災士会「てまがえ隊」。消防職員(現役・OB)、社会福祉協議会職員、会社社員、郵便局長、主婦などで構成されるボランティア組織で、今年10月現在で、20代、60代の28人うち女性12人が参加しています。

ゲリラ豪雨で設立発起

現在「てまがえ隊」は、自治会やサークルを対象に、防災教室や救急救命講習など、市民への啓発活動を行っています。糸島市の呼びかけで自主防災組織が徐々に設立されていく中、田中さん夫妻は「大災害発生時、自動・共助・公助の割合は7:2:1。自分の命は自分で守る発想がたいせつ。併せて、地域や近隣の人々が互いに協力しながら、組織的に防災活動に取り組むことが必要。自主防災組織をつくって安心せず、地図で危険箇所を確認し、自分の足でまちを歩き、記録し、訓練してほしい。その繰り返しで非常時にとっさに動くことができ、判断できるので」と日ごろからの備えと、意識改革の重要性を訴えます。



子どもたちに消火器の使い方を指導中